

事前評価個表

整理番号	21
------	----

地域（地区）名	<small>おおいたちゅうぶ</small> 大分中部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	大分県	対象市町村	<small>おおいた</small> 大分市ほか5市
事業実施期間	R4年度～R8年度（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、大分県の中央部に位置し、大分市を流れる大野川、大分川流域を中心に、北は由布・鶴見山系、西はくじゅう山系、南は祖母山系の山々の稜線に、東は佐賀関半島から臼杵湾及び津久見湾、四浦半島の海岸に囲まれる6市を包括する地区である。</p> <p>本地区の総面積は227,308haであり、このうち民有林森林面積は133,016ha（民有林率59%）となっており、スギ・ヒノキを主体とした人工林面積は60,134ha（人工林率45%）である。</p> <p>本地区内の路網整備の状況は林道延長591km（密度4.44m/ha）、作業道1,751km（密度13.16m/ha）が整備され、県平均路網密度の林道4.86m/ha、作業道14.42m/haをともに下回っており、また、Ⅷ齢級を超える森林が70%と利用の適期を迎えた森林が充実していることから、路網整備を推進することで、主伐及び利用間伐といった資源の循環利用を促進し、また、主伐後の再生林や下刈等の保育を確実に行うことで、水源涵養機能等の公益的機能の維持増進を図る必要がある。</p> <p>このことから、大分中部地域森林環境保全整備事業計画を策定し、間伐等の施業集約化と丈夫な路網整備、一貫作業システムによる主伐後の確実な再生林を推進し、森林整備の低コスト化を一体的かつ計画的に実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：7,470ha 人工造林、下刈、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>路網整備：7,315m 林道開設</p> <p>総事業費：4,580,230千円（税抜き4,163,845千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C=4.26$</p> <p>（総便益（B）=26,172,571千円、総費用（C）=6,141,655千円）</p>
評価結果	<p>必要性：地域材の利用促進と森林の公益的機能の維持増進のためには、主伐後の確実な再生林や、その後の下刈等の保育が不可欠であり、森林資源の循環利用の観点からも、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性、森林資源の現状並びに自然条件や社会的要請等を総合的に勘案した事業の実施により、森林資源の循環利用や公益的機能の維持増進が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：大分県

地域(地区)名：おおいたちゅうぶ大分中部

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,559,811	
	流域貯水便益	1,375,078	
	水質浄化便益	5,059,032	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,442,101	
環境保全便益	炭素固定便益	4,208,988	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	114,585	
	木材利用増進便益	69,967	
	木材生産確保・増進便益	3,841,214	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	14,387	
	森林管理等経費縮減便益	2,327	
	森林整備促進便益	1,485,081	
総 便 益 (B)		26,172,571	
総 費 用 (C)		6,141,655	
費用便益比	$B \div C = \frac{26,172,571}{6,141,655} = 4.26$		

森林環境保全整備事業概要図 大分中部地域(大分県)



森林基幹道開設（吉四六線）計画地



森林管理道開設（三宅山線）計画地

森林基幹道開設
吉四六線

森林管理道開設
三宅山線

凡 例	
計画区界	—
事業区域
森林整備	——
林業専用道等整備	○
森林資源循環 利用林道整備事業	◎